

「胃全摘患者の臨床的問題点の解析と治療成績改善のための在宅夜間経腸栄養療法の評価についての後ろ向きおよび前向き観察研究」ご協力をお願い

近年、超高齢化社会の到来に伴い、併存疾患を有する高齢者やハイリスク胃癌症例が増加しています。特に、胃全摘は術後の栄養失調による体重減少が著しく、特に高齢者や併存疾患のある患者の術後 QOL 低下を招いています。当院ではハイリスク、高齢の胃癌患者に根治性を損なわない範囲で胃全摘を回避し、胃全摘患者には在宅夜間経腸栄養療法を行う工夫を行い、良好な成績が得られてきました。当院の過去の症例を解析して胃全摘の臨床的問題点を明らかにし、体重減少予防策として行っている在宅夜間経腸栄養療法の臨床的意義を明らかにすることで、高齢者・ハイリスク患者の胃癌治療に寄与することができると考え研究を行います。

### 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科

小松 周平(責任研究医師) ほか

### 研究の方法

1992 年から 2020 年 10 月に治療した胃癌患者様を後ろ向き研究の対象とします。また 2020 年 11 月以降に治療する患者様も対象とします抽出するデータは、以下の通りです。

- ① 関連情報: Stage、病理所見、画像所見、臨床病理学的因子、採決項目などデータベースや電子カルテから情報を集めます。
- ② 患者基本情報: 性、年齢、罹病期間、身長、体重など

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

### 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

### 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 消化器外科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 小松周平(skomatsu@koto.kpu-m.ac.jp)